

KIGOCOCHI

間取りに「木」で自由を。三菱地所ホームが提案する空間木質化の新商品
木と寄り添う暮らしを提案する〈KIGOCOCHI〉

デザイン：トラフ建築設計事務所

木や自然の気配を感じる〈KIGOCOCHI〉の仕様を体験できるモデルショールーム
2023年10月14日（土）横浜にオープン



Photo : Tomooki Kengaku

2023年10月、木を活かすことで住まいの居心地のよさを追求した、空間木質化の新商品
〈KIGOCOCHI（キゴコチ）〉が誕生します。

三菱地所ホームが提案・販売するもので、デザインはトラフ建築設計事務所が監修しています。

木には、現代に暮らす人間が忘れかけてしまった感覚を呼び覚ます魅力があります。

〈KIGOCOCHI〉は、生きた木材をふんだんに使用することにより、たとえ都市部で暮らしていても
「五感」で木を感じ、人間本来の感覚を取り戻すために作用する木の居住スペースを作り出します。

また、〈KIGOCOCHI〉の誕生にあわせて、『三菱地所のリフォーム リフォームショールーム』は、
2023年10月14日（土）、〈KIGOCOCHI〉の仕様を実際に体験できる空間へとリニューアルオープン
します。長年にわたり木造住宅をつくり続けてきた三菱地所ホームだからこそ実現できる木と寄り
添う暮らしの提案をぜひショールームでご体感ください。

URL <https://kigocochi.com/>

INSTAGRAM https://www.instagram.com/ki_gocochi/

※三菱地所ホーム株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：細谷 惣一郎、以下「三菱地所
ホーム」）が、三菱地所グループのリフォーム事業ブランド『三菱地所のリフォーム』より、
〈KIGOCOCHI〉第一弾を発売します。

〈KIGOCOCHI〉とは

「木」の可能性を見出すことにより、住まいの居心地の良さを徹底的に追求する空間木質化のプランです。「KI=木」から得られる「IGOKOCHI=居心地」を追求することから名付けられました。表面的に木を使用するのではなく、家の中に木の塊（コア）を機能的にレイアウトし、人間が木に囲まれたり、大木に寄りかかったりするときに得られる居心地の良さを再現することで、都市部の居住者向けに「木と寄り添う暮らし」を提案します。

〈KIGOCOCHI〉の特長

1. 住まいに必要な機能となる木の塊「コア」

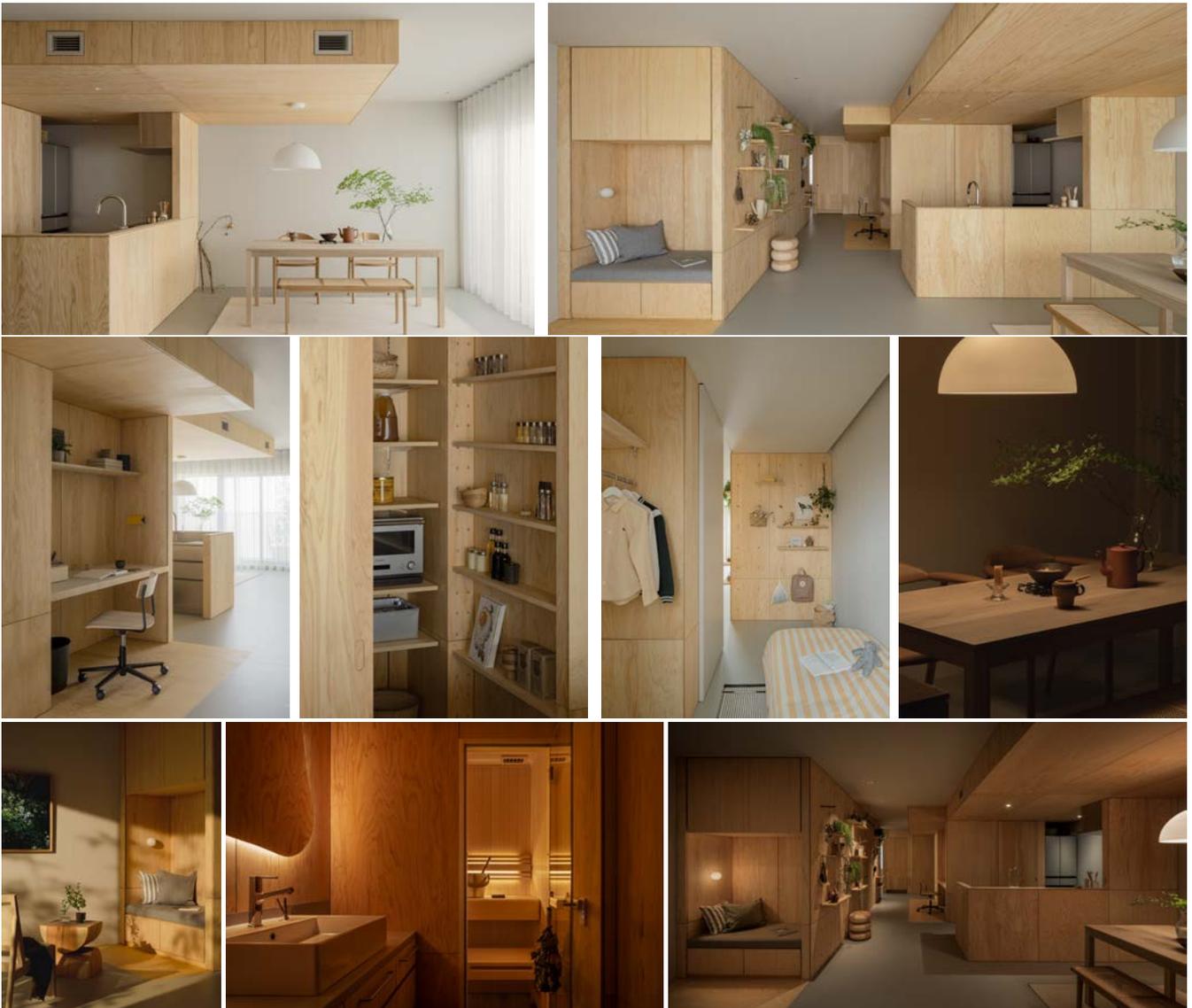
「水回り」「キッチン・家具・スタディスペース」「玄関・寝室」で構成される3つの「コア」を配置することにより、狭い廊下と閉じた個室といった都市部の住宅空間の従来の間取りにとらわれず、柔軟で回遊性の高い空間を実現し、さまざまなレイアウト提案を可能にします。

2. 国産ヒノキ材の活用

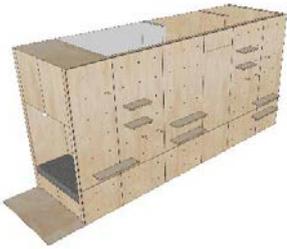
インテリアや家具市場において、ウッドラミネートなどの表面材としての木材が普及する中、〈KIGOCOCHI〉は国産ヒノキ材を使用し、木で居心地のよさを追求します。木を表層的な素材として扱うだけでなく、改めて木が持つ本来の生命力に着目し、本物の木ならではの魅力をデザインします。

3. 経年変化も楽しめる本物の自然に囲まれた空間

住まいに必要な機能をまとめた「コア」を木で包み、家の中に大木のような存在を創り出し、木に寄り添うような居心地のよい空間を設計することで、自然の気配を感じることが出来る空間が誕生します。使い込むほどに美しさを深める木は、10年後、20年後と、徐々にその表情が変わり、時を経るごとに愛着が深まる空間へと変化します。



3つの「コア」



1. 水回りのコア

ユニットバス・脱衣所・サウナといった水回りが集まったコア。脱衣所の床は素足が触れて気持ち良い名栗加工*の木材に。また、コアの外側にはアルコーブ*の中にソファベンチを設けることで「木の洞穴」に籠るような心地よさを再現しました。

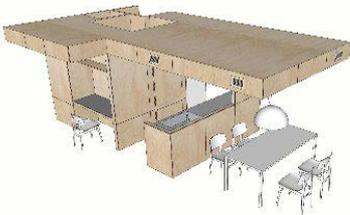
*名栗加工：角材や板に独特の削り跡を残す日本古来からの加工技術

*アルコーブ：廊下や居室にあるくぼみ



2. 玄関・寝室のコア

玄関は「木のトンネル」状とすることで、扉を開けた瞬間から木の心地よさに包まれます。ベッドルームは小上がりとなり、下部は収納スペースとして活用できます。就寝前は縁側のように腰掛け、読書や会話をする心落ち着ける居場所に。



3. キッチン・家具・スタディスペースのコア

3方向からアクセスできるキッチン、パントリー、洗濯といった家事スペースのコア。あたたかも樹木から伸びる枝木のようにコアから庇が伸び、その真下にダイニングスペースが生まれます。また、書斎にもなるデスクも内包しています。

居心地をこだわり抜いたマテリアルとディテール

主要部は国産材のヒノキを採用しています。ヒノキは見た目の美しさのみならず耐久性に優れ、湿度にも強い特性をもつ樹種として重用される一方で、内装材として使用する際の廃棄ロスは課題でした。そこで〈KIGOCOCHI〉は、構造用部材として使用されるヒノキ合板を内装の仕上材として活用。表面にあたる部分をヒノキ本来の美しい色や木目を維持するために厳選し、節の多い部分は隠れた層に活用するなど大幅に廃棄ロスを減らしました。これは共栄木材株式会社の協力により実現しました。また、ドアノブや引手、脱衣所の床など、人が直接触れるポイントに木を積極的に配置。暮らしの随所で木が感じられ、使い込むほどに愛着が増していきます。

照明

木のぬくもりを感じたり、より落ち着ける場所とするためのライティングを追求した。木の素材を引き立たせる居心地のよい照明計画は中村 達基（BRANCH LIGHTING DESIGN）が手がける。

植栽

インドアでも季節のうつろいを感じるグリーン。そんなグリーンは私たちの暮らしに落ち着きを与えてくれる心地よいBGMのようなもの。〈KIGOCOCHI〉では窓辺の植栽計画のほか、テラスで育てる植物の提案を行う。

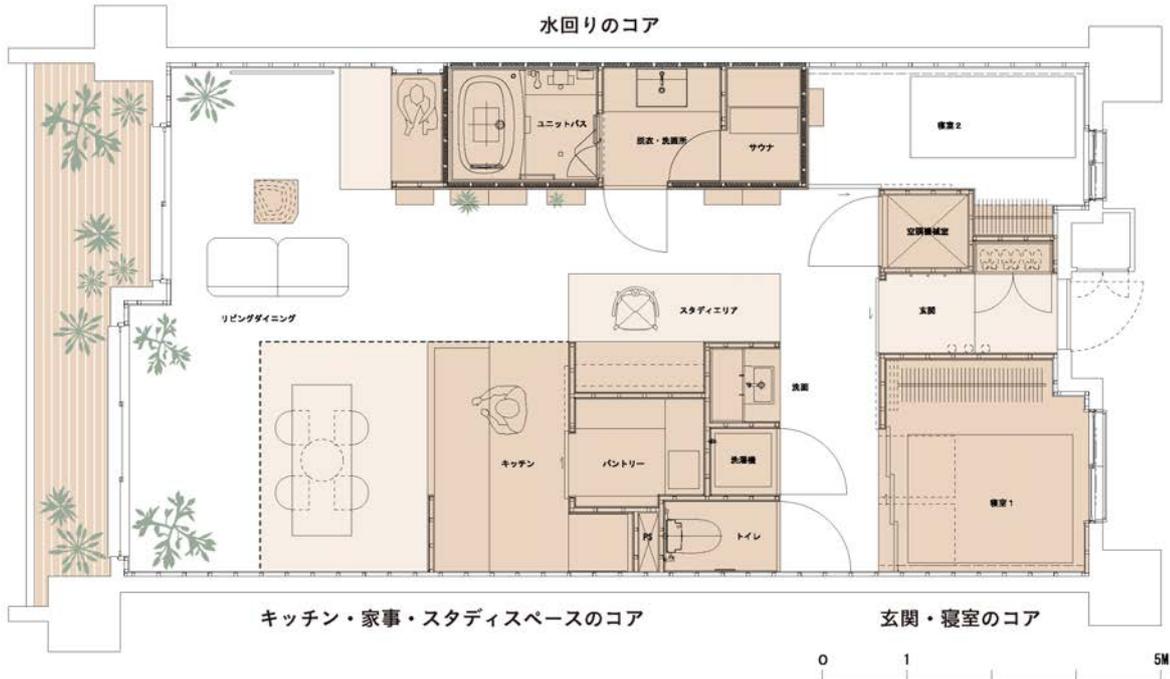
カスタマイズウォール

コア壁面を有孔パネルとすることで、自由自在にフックや棚板をレイアウトできる

サウナ

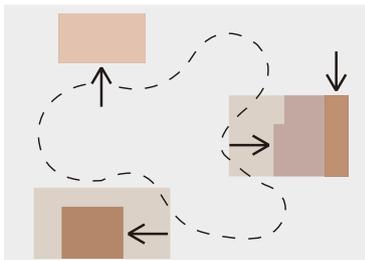
水回りのコアには、サウナをビルドインすることが可能（オプション仕様）。木の香りや木の素材感と共に、1日の疲れをリフレッシュすることができる

木の塊（コア）のレイアウト例



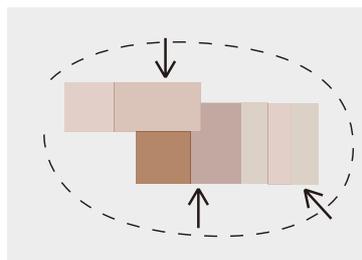
マンションの間取りに「木」で自由を

暮らしに必要な主要機能を木の塊（コア）で効果的に配置。それらをタイプ別にレイアウトするというシンプルな発想から生まれた基本思想で、従来のマンションの間取りにとらわれることのない、より機能的でコンテンポラリーな暮らしを実現します。



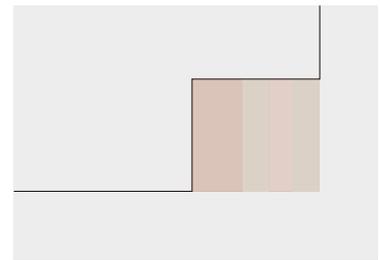
TYPE A

木のコアを外側に分散させたレイアウトタイプ。部屋にも通路にも属さない書斎や洗面、ソファベンチなど、コアとコアの間に生まれる空間を有効活用し、暮らしの中に新たな居心地を加えるレイアウト。



TYPE B

住居内の機能を中心部に集約させることによって、コアの周囲に広々として回遊性が高く、楽しい動線を生み出す。採光窓の多い間取りに適したレイアウト。



TYPE C

フルリノベーションだけではなく、木のコアを部分的に導入するプランにも対応可能。キッチンや水回りの部分検討や、戸建てやオフィスなどのマンション以外でも導入可能なレイアウト。

「KIGOCOCHI」のLOGO

「木の塊（コア）」を配置したときに創り出される自由な動線。それに沿って〈KIGOCOCHI〉のアルファベットが軽やかに動くブランドロゴとしました。一見シンプルでありながら、本製品がもたらす価値を緻密に表現しています。デザインは、佐々木拓／金井あき（KANAIASAKI）が手がけています。

KI
GOC
OCHI

〈KIGOCOCHI〉開発の背景

戸建建築や中大規模木造建築など、新築の建築物において木造木質化の取り組みが本格化するなか、マンションは既存の建物躯体の構造や間取り上の制限など、様々な要因から木造木質化を図ることが難しい環境にあり、木造や木質の住まいを楽しむ機会が少ない状況にあります。地球環境に配慮した木に関する建築事業を39年間に渡り展開してきた三菱地所ホームは、より住み心地の良い空間を求めるマンション居住者に向けて、木や自然の気配を感じられる住まいの「居心地の良さ」を追求した住空間を提案するために〈KIGOCOCHI〉の開発に至りました。

「木と出会う」場の創造 ～木のコミュニティ&ハブ『KIDZUKI』～

KIDZUKIには、木で「気づき」、木で「築く」新たな価値という意味が込められています。長年にわたり木造住宅をつくり続けてきた三菱地所ホームが中心的役割を果たし、より木のことを深く知り、さらなる魅力を見出すための取り組みがKIDZUKIです。メディアやプロジェクト、イベント等の活動を通じて、木に関するアイデアや仲間がここに集い「木で、もっと」な社会を目指します。〈KIGOCOCHI〉は、こうした『KIDZUKI』の取り組みを通じて出会ったトラフ建築設計事務所、木の生活を考え愛媛県で木材業を営む共栄木材等の協力のもと誕生しました。

【公式ウェブサイト】 <https://kidzuki.jp/>

ショールーム 概要

名称：「三菱地所のリフォーム」リフォームショールーム

オープン予定日：2023年10月14日（土）

所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1

TEL：0120-429-115

営業時間：10:00～18:00

定休日：水曜日、日曜日（祝日を除く）

アクセス：JR京浜東北・根岸線、横浜市営地下鉄（ブルーライン）

「桜木町」駅より徒歩約9分

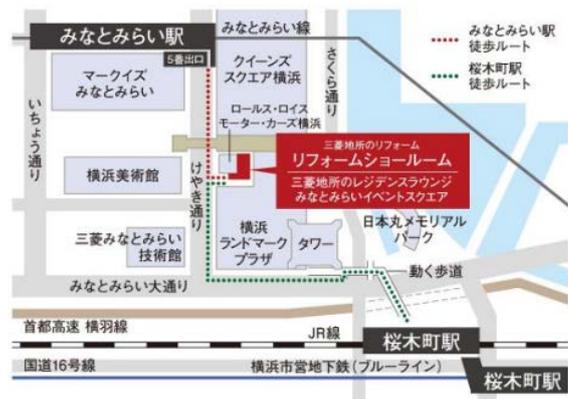
みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩約4分

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※「横浜ランドマークプラザ・タワー」内からは入れません。

「けやき通り」よりお越しください。

URL：<https://www.mec-reform.com/showroom/>



関係者クレジット

空間設計：トラフ建築設計事務所

照明計画：BRANCH LIGHTING DESIGN

アートディレクション：佐々木拓/金井あき (KANAISASAKI)

ディレクション：トラフ建築設計事務所、Polar Inc.

関係者プロフィール

三菱地所ホーム株式会社

三菱地所グループ唯一の住宅メーカーとして、フルオーダーの注文住宅を手掛ける。戸建・集合住宅や医院・店舗、リフォームの設計・監理・施工請負、土地活用のコンサルティングを主要の事業とする。

「Discover Your Life ーすべての人生を、建てようー」という企業ミッションのもと、全館空調「エアロテック」を強みとした快適な空気環境の住まいを提案するとともに、耐震性・耐火性・耐久性・断熱性に優れた独自工法「ツーバイネクスト構法」をもって安心・安全な住環境を実現、「真に価値のある住まい」を提供する。三菱地所グループ各社との連携を通じて中大規模木造建築を手掛ける等、都市の「木造・木質化」を推進し、持続可能な社会の実現への貢献を目指す。

リフォーム事業では、20年以上の実績や三菱地所グループの総合力を活かしたサポート体制をもって、リフォーム事業ブランド「三菱地所のリフォーム」を掲げ、高品質なサービスや確かな技術と創造性豊かな提案力によって、多様なニーズに応えるリフォームを実現する。

株式会社トラフ建築設計事務所

鈴野浩一(すずの こういち)と禿真哉(かむろ しんや)により2004年に設立。建築の設計をはじめ、インテリア、展示会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など活動は多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。主な作品に「テンプレート イン クラスカ」

「NIKE 1 LOVE」「港北の住宅」「空気の器」「ガリバーテーブル」「Big T」など。「光の織機(Canon Milano Salone 2011)」は、会期中の最も優れた展示としてエリートデザインアワード最優秀賞に選ばれた。2015年「空気の器」が、モントリオール美術館において、永久コレクションに認定。

KAN AISASAKI (佐々木拓、金井あき)

2008年コクヨ入社。現在、コクヨYOHAK DESIGN STUDIOに所属しながら、KAN AISASAKIとしても様々なデザインに取り組む。主な仕事にTHE CAMPUSのアートディレクション、THINK OF THINGSのアートディレクションとオリジナル商品のディレクション、コクヨtokyo2020ムービーのアートディレクションなど。受賞歴にJAGDA新人賞、東京ADC賞、GOOD DESIGN AWARD金賞、RED DOT DESIGN AWARD、KOKUYO DESIGN AWARDなど。

<プレスお問合せ先>

KIGOCOCHI PRサポート / HOW INC.

TEL : 03-5414-6405

Mail : pressrelease@how-pr.co.jp

<お客様お問合せ先>

三菱地所ホーム株式会社

TEL : 0120-919-660 9 : 30~18 : 00 (水・日定休)

Mail : mec-reform@mjhome.co.jp

Website : <https://www.mitsubishi-home.com/>